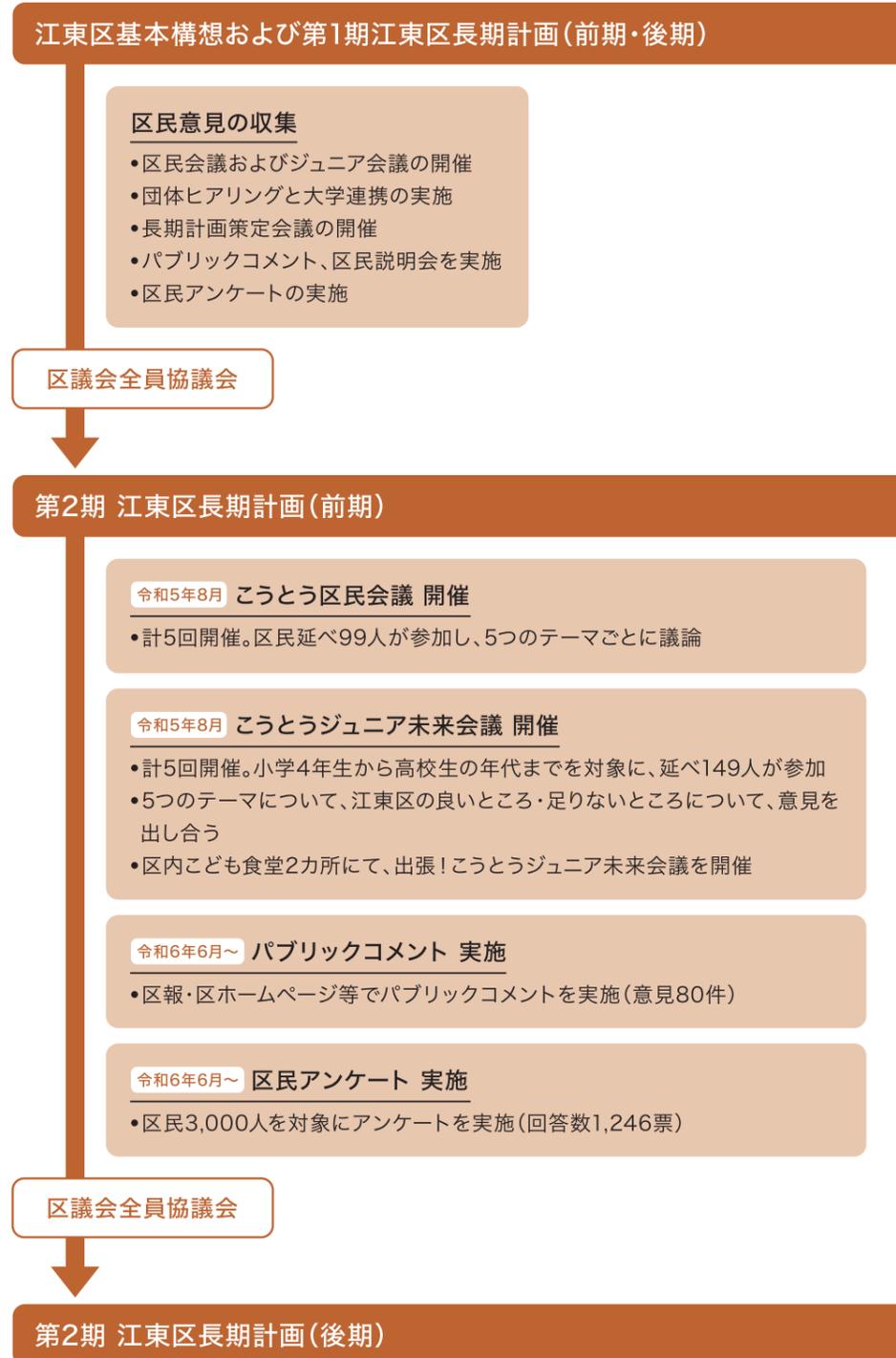


# 資料

# 1. 計画の策定

長期計画の策定にあたっては、子どもを含めた幅広い年代の区民からの意見を聴取する機会を設けました。多くの区民にご参加いただいたワークショップ「こうとう区民会議」を皮切りに、「こうとうジュニア未来会議」、「区民アンケート」などにより、江東区の特徴や抱える課題、今後の取り組み等について、建設的なご意見を多く頂戴し、計画策定に反映しました。



## 1. こうとう区民会議

公募で広く区民に参加を呼びかけ、区の魅力やあるべき姿、現状の課題や対応策を検討するワークショップ「こうとう区民会議」を計5回開催しました。あるテーマに対して賛成と反対に分かれて意見を出し合う方法を採用し、区の取り組みへの希望について、さまざまな意見が出されました。

開催概要	開催日	参加者
第1回	令和5年8月6日(日)	27名
第2回	令和5年8月17日(木)	19名
第3回	令和5年8月20日(日)	14名
第4回	令和5年8月26日(土)	18名
第5回	令和5年8月27日(日)	21名

検討テーマ	開催テーマ・テーブル分野
	水辺・緑、環境
	子育て、教育、居場所
	産業、コミュニティ・多様性、文化・観光
	保健・医療、福祉
	まちづくり・交通、防災・防犯

### こうとう区民会議の様子



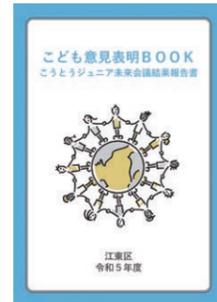
## 2. こうとうジュニア未来会議

江東区在住・在学の①小学4～6年生②中学生③高校生または15～18歳の方、合計149人が参加し、5つの大綱のテーマごとに、江東区の「良いところ」と「足りないところ」についてグループで話し合いを行いました。意見を出し合った後、付せんを使って意見を整理して、代表者が発表を行いました。

### 開催概要

	開催日	参加者
第1回	令和5年8月6日(日)	27名
第2回	令和5年8月7日(月)	32名
第3回	令和5年8月15日(火)	30名
第4回	令和5年8月17日(木)	28名
第5回	令和5年8月20日(日)	32名

いいね👍を増やそう！ こうとうジュニア未来会議  
～こども×アイデア=∞ from the next generation～



### こうとうジュニア未来会議の様子



加えて、「出張！こうとうジュニア未来会議」を開催し、「こんなみらいのまちになったらいいな」をテーマにこども食堂に集まったこどもたちから意見をもらいました。こどもには自由に意見やアイデアを、付せんに書いてもらい、模造紙に貼り付けました。

### こども食堂に集まったこどもたちの様子



### こうとうジュニア未来会議で出た江東区の良いところで作成したワードクラウド



### こうとうジュニア未来会議で出た江東区の足りないところで作成したワードクラウド



※ワードクラウド…テキストデータの中の単語を出現頻度に合わせて大小をつけて視覚化する手法

## 2. 指標一覧

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	
<b>1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現</b>					
代表指標	水辺と緑に満足している区民の割合	区民アンケートで、「水辺と緑に満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した区民の割合	72.7%	80%	
1	みんなでつくる水辺と緑	区民・事業者による新たな緑化面積	敷地面積250㎡以上の施設(区立施設を除く)で、緑化計画書に記載された新規の緑化面積	91,048㎡ (5年度)	—
		水辺と緑に関する活動に取り組んでいる区民の割合	区民アンケートで、水辺と緑に関する活動を1項目以上選択した区民の割合	30.6%	50%
2	水辺と緑のネットワークの形成	水辺・潮風の散歩道整備率	「水辺・潮風の散歩道」の内部護岸(外郭堤防内側の河川・運河護岸)の整備対象延長に対する割合	61.17% (5年度)	65.11%
		公園面積	区内の区立公園、児童遊園、都立公園(海上公園含む)、国営公園の総面積	515.1ha (5年度)	550ha
		江東区では水辺や緑に親しむ機会があると回答した区民の割合	区民アンケートで、「水辺や緑に親しむ機会があると感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した区民の割合	66.1%	70%
3	公共施設の緑化	公共施設の緑化済み面積割合	現行基準となった平成12年度のみどりの条例より、敷地面積250㎡以上の区立施設において緑化計画書に記載された緑化面積の割合	29.5%	31.5%
4	生物多様性の保全	生物多様性の内容を知っている区民の割合	区民アンケートで、「生物多様性の言葉の意味を知っていた」と回答した区民の割合	39.8%	70%
<b>2 地球温暖化対策と環境保全</b>					
代表指標	区内の年間CO <sub>2</sub> 排出量	区内の年間二酸化炭素排出量(2013年度比)	3,360千t-CO <sub>2</sub> (平成25年度)	1,680千t-CO <sub>2</sub> (12年度)	
1	みんなで取り組むエコ意識の向上	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合	区民アンケートで、環境に配慮した行動を5項目以上選択した区民の割合	66.8%	77% (12年度)
		区内の事務所及び商業施設等・家庭の年間CO <sub>2</sub> 排出量	区内の民生部門(家庭部門、業務部門)の年間二酸化炭素排出量(2013年度比)	2,066千t-CO <sub>2</sub> (3年度)	1,252千t-CO <sub>2</sub> (12年度)
2	再生可能エネルギーの普及促進と省エネルギー対策	地球温暖化防止設備導入助成件数	地球温暖化防止設備導入助成の総件数(年度)	961件 (5年度)	1,680件
		区有施設における年間CO <sub>2</sub> 排出量	区内の一事業者である区役所の年間二酸化炭素排出量(2013年度比)	30,759t-CO <sub>2</sub> (平成25年度)	15,380t-CO <sub>2</sub> (12年度)
		再生可能エネルギー設備を導入した区施設数	再生可能エネルギー設備(太陽光発電施設、雨水利用施設、風力発電施設)を導入した区施設数	78施設 (5年度)	84施設

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	
<b>2 地球温暖化対策と環境保全</b>					
3	環境汚染の意識啓発と防止	区内河川及び海域の水質に関する環境基準適合割合	区内の河川12地点、海域3地点で年4回、BOD、CODの水質調査を実施した総数のうち、環境基本法に基づく環境基準を達成した地点の割合	95% (5年度)	100%
4	まちの美化推進	アダプトプログラム登録団体数	区民・事業者が、公園や道路にわが子のような愛情を注いで、定期的に清掃するボランティア活動(江東区版アダプトプログラム)に登録している団体数(休止団体を除く)	251団体 (5年度)	350団体
<b>3 持続可能な資源循環型地域社会の形成</b>					
代表指標	区民1人当たり1日の資源・ごみの発生量	区民1人が1日に排出する資源・ごみの量	595g (5年度)	580g	
1	持続可能な資源循環型地域社会実現に向けた啓発と情報発信	ごみを減らす活動に取り組んでいる区民の割合	区民アンケートで、ごみを減らす活動を4項目以上選択した区民の割合	55.9%	65%
2	5R(リデュース・リデュース・リユース・リペア・リサイクル)の推進	区民1人当たりの1日の区収集ごみ量	区民1人が1日に排出するごみの量	438g (5年度)	409g
3	ごみの適正処理と資源化の一層の促進	燃やすごみに含まれる資源物の割合	家庭の燃やすごみに含まれる資源物(古紙類及びプラスチック)の割合	20.9% (5年度)	18.1%
4	事業系廃棄物の減量	事業系廃棄物の再利用率	大規模建築事業者(3,000㎡以上の延べ床面積を持つ事業所)が、排出する事業系廃棄物を再利用する割合	72.4% (4年度)	74.3%
<b>4 良質で多様な保育サービスの充実</b>					
代表指標	保育所利用者(保護者)の満足度	第三者評価における利用者アンケートにおいて、利用園に大変満足、あるいは満足と回答した利用者の割合	94.5% (5年度)	95.0%	
1	待機児童の解消	保育所待機児童数	保育施設への入所を申し込み、入所の要件を備えていながら入所できない児童の数	0人	0人
		保育所の定員に対する入所割合	保育所の定員に対する入所割合(各年度4月1日時点の利用割合。認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所各施設の入所状況から算定。)	86.1% (5年度)	90.0%
2	良質かつ多様な保育サービスの提供	保育所に対する指導検査実施完了割合	区内の保育施設(認可・認証保育所等)に対する、指導検査を実施した施設の割合	100% (5年度)	100%
		指導検査において文書指摘のあった保育施設の割合	区内の保育施設(認可・認証保育所等)に対して実施した指導検査において、文書指摘のあった施設の割合	21.1% (5年度)	—

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	
5 みんなで取り組む子育て家庭への支援					
代表指標	地域に見守られて子育てしていると感じる保護者の割合	区民アンケートで「地域に見守られて子育てしていると感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した保護者の割合	57.4%	75%	
1	子育て支援サービスの充実	各種子育て支援サービスの合計利用者数	505,867人 (5年度)	600,000人	
		必要な子育て情報が入手できる保護者の割合	区民アンケートで「区内の子育て情報が入手しやすいと思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した保護者の割合	65.2%	75%
2	子育て家庭への経済的支援・自立支援	子ども医療費助成件数	1,463,391件 (5年度)	—	
3	児童虐待の未然防止と虐待対応力の強化	しつけであってもこどもに体罰を与えてはならないと理解している区民の割合	区民アンケートで「しつけであっても体罰はすべきではない」と回答した区民の割合	63.6%	100%
		児童虐待を疑ったときの通告先を知っている区民の割合	区民アンケートで、「虐待を疑ったときの通告先を知っている」と回答した区民の割合	37.7%	100%
6 一人一人に向き合う学校教育の充実					
代表指標	江東区では児童・生徒一人一人に向き合った教育を推進していると考えられる保護者の割合	区民アンケートで、「江東区では、児童・生徒一人一人に向き合った教育を推進していると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した保護者の割合	32.1%	45.3%	
1	学習内容の充実	全国学力調査で都平均を100としたときの区の数値	小学校6年生・中学校3年生が対象の全国学力・学習状況調査の教科に関する調査の都平均を100としたときの区児童・生徒の平均値	小 104.4 中 102.5 (5年度)	小 107 中 105
		学習用端末を使った学習はわかりやすいと思う児童・生徒の割合	小学校2年生から中学校3年生対象のこうとう学びスタンダード定着調査の質問紙調査の「Chromebookを使った学習はわかりやすいですか」の質問に肯定的に回答した区児童・生徒の割合	小 90.9% 中 85.6% (5年度)	小 100% 中 100%
2	思いやりの心の育成	自分にはよいところがあると思う児童・生徒の割合	小学校6年生・中学校3年生が対象の全国学力・学習状況調査の質問紙調査の「自分にはよいところがあると思う」の質問に肯定的に回答した区児童・生徒の割合	小 81.4% 中 79.0% (5年度)	小 100% 中 100%
		人の役に立つ人間になりたいと思う児童・生徒の割合	小学校6年生・中学校3年生が対象の全国学力・学習状況調査の質問紙調査の「人の役に立つ人間になりたいと思う」の質問に肯定的に回答した区児童・生徒の割合	小 94.6% 中 93.2% (5年度)	小 100% 中 100%

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	
6 一人一人に向き合う学校教育の充実					
3	健康・体力の増進	全国体力調査で都平均を100としたときの区の数値	小学校5年生男子・女子、中学校2年生男子・女子が対象の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の都平均を100としたときの区児童・生徒の平均値	小男子 100.2 小女子 100.4 中男子 97.6 中女子 96.6 (5年度)	小男子 101 小女子 102 中男子 102 中女子 103
		教員の資質・能力と学校の組織力の向上	各種教員研修等に参加した教職員の割合	区・都・国が主催する教員研修に参加した教職員の割合	—
7 多様なニーズに応じた教育環境の充実					
代表指標	学校生活は楽しいと思う児童・生徒の割合	こうとう学びスタンダード定着度調査の児童・生徒質問紙の「学校生活は楽しいですか。」の質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	90.0% (5年度)	100%	
1	多様な教育ニーズに応じた教育支援の推進	特別支援教室完了者割合	特別支援教室での指導の成果により、在籍学級に戻る等の支援ができていた児童・生徒割合	19.2% (5年度)	—
		いじめ・不登校対策等の充実	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童・生徒の割合	小学校6年生・中学校3年生が対象の全国学力・学習状況調査の質問紙調査の、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の質問に肯定的に回答した区児童・生徒の割合	94.4% (5年度)
2	不登校児童・生徒のうち専門機関による支援を受けていない児童・生徒の割合	不登校児童・生徒のうち専門機関による支援を受けていない児童・生徒の割合	不登校となっている児童・生徒のうち、学校や専門機関等による支援を受けていない児童・生徒の割合	小 16.2% 中 22.5% (5年度)	0%
		学校・地域・家庭の連携の推進	地域学校協働活動に参加したボランティア数	各学校で実施しているさまざまな地域学校協働活動に参加したボランティアの年間延べ人数	24,100人 (5年度)
4	教育施設の整備・充実	改築・改修を実施した学校数	計画的に行われた学校施設の改築工事及び大規模改修工事の実績数	7校(累計) (5年度)	25校(累計)
8 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり					
代表指標	こどもの安全・安心な居場所があると感じている区民の割合	区民アンケートで、「こどもの安全・安心な居場所があると感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した区民の割合	41.5%	64%	
1	こどもが安全で健やかに過ごすことができる居場所の確保	江東きッズクラブB登録を利用できなかった児童数	利用申請し、利用の要件を備えていながら、江東きッズクラブ(学童クラブ)を利用できなかった児童数	117人 (5年度)	0人
		江東きッズクラブ利用児童の満足度	きッズクラブ利用者に対して行うアンケートで「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童の割合	88.7% (5年度)	92%
		児童館利用者数	児童館の利用者数(年間延べ人数)	495,033人 (5年度)	500,000人
2	こどもの安全を確保する地域環境の創出	行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合	区民アンケートで、行政・地域の活動が「こどもにとって安全・安心な地域環境づくりに役立っていると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	48.2%	60%

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
<b>9 次代を担う青少年の健全育成の推進</b>				
代表指標	青少年が健全に育つことができる環境が整っていると考える区民の割合	区民アンケートで、「青少年が健全に育つことができる環境が整っていると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	20.6%	50%
1	青少年が活動できる場の提供	この1年にサークルや趣味を目的として区公共施設を利用または地域などの活動に参加したことのある青少年の割合	20.2%	25%
2	青少年健全育成の担い手の養成・確保	青少年指導者の登録者数	150人 (5年度)	208人
3	関係機関・団体との連携強化による健全育成の推進	地域連携により実施した青少年健全育成事業数	青少年の健全育成のために、地域との連携により実施した青少年健全育成事業の実施数	206件
		青少年相談をうけて状況が改善または心が軽くなったと感じる青少年の割合	青少年相談利用者に対して行うアンケートで「状況が改善した」、「気持ちの整理ができた」等の回答をした相談利用者の割合	50%
		「どこにも助けてくれる人がいない」「どこにも相談できる人がいない」とする青少年の割合	区民アンケートで、「身近に生活の相談をすることができる人がいない」と回答した青少年の割合	10.2%
4	青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備	SNSやスマートフォン等の安全な利用方法やルール、マナーについて学んだことがある青少年の割合	57.4%	65%
<b>10 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成</b>				
代表指標	区内の企業やお店が元気に活動していると思う区民の割合	区民アンケートで、「区内の企業やお店が元気に活動していると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	45.3%	60%
1	経営力・競争力の強化	各種助成事業における助成件数	218件 (5年度)	250件
2	人材の確保・育成と事業承継	江東しごとサポートセンターの利用者で就職が決定した人数	544人 (5年度)	750人
3	創業への支援	創業支援資金の融資申込みをした事業者数	79事業者 (5年度)	80事業者
4	地域に根ざした商店街の振興	魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合	59.4%	70%

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
<b>11 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化</b>				
代表指標	この1年間に地域活動に参加した区民の割合	区民アンケートで、「町会・自治会、NPO、ボランティアなどが主催するコミュニティ活動によく参加している」「ときどき参加している」と回答した区民の割合	15.8%	50%
1	多様なコミュニティ活動への参加の促進	町会・自治会加入世帯数	毎年3月1日現在の町会・自治会の加入世帯数	157,719世帯 (5年度)
		町会・自治会加入率	毎年3月1日現在の町会・自治会の加入率	54.1% (5年度)
		地域活動に関心がない区民の割合	区民アンケートで、「町会・自治会、NPO、ボランティアなどが主催するコミュニティ活動に今はほとんど参加していない」「まったく参加したことはない」と回答した区民のうち、「地域活動へ参加したいと思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した区民の割合	43.4%
2	コミュニティ活動を支える環境整備	気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合	61.6%	65%
3	地域・世代・国籍を超えた交流・共生の推進	この一年間に地域イベントに参加したことがある区民の割合	30.7%	50%
<b>12 多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現</b>				
代表指標	江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思う区民の割合	区民アンケートで、「性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	44.8%	80%
1	人権と多様性を尊重する意識の醸成	多様性について自分にも関わりがあると感じている区民の割合	52.3%	80%
2	男女共同参画の推進	区の審議会等への女性の参画率	31% (5年度)	40%
3	ワーク・ライフ・バランスの推進	仕事と生活の調和がとれた生き方を実現できていると答えた区民の割合	49.2%	80%
4	異性に対するあらゆる暴力の根絶	DV相談窓口を知っている区民の割合	33.1%	70%

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
<b>13 生涯にわたり学習できる環境の充実</b>				
	代表指標	趣味や学習などの集まりに参加している区民の割合	13.5%	20%
1	生涯学習の促進	学習や講座などから新たに学び、地域活動や仕事などに活かしたいと考えている区民の割合	54.5%	70%
2	図書館サービスの充実	図書館来館者数(年間)	3,444千人(5年度)	3,770千人
		図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合	73.8%	80%
<b>14 スポーツを楽しめる環境の充実</b>				
	代表指標	週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合	49.5%	70%
1	区民のスポーツ活動の促進	週1回以上スポーツ・運動を行う障害者の割合	48.8%	50%
		年1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合	70.8%	95%
2	スポーツをしやすい環境の整備	区立スポーツ施設の利用者数	1,767千人(5年度)	2,550千人
		区立スポーツ施設の利用者満足度	90.9%(5年度)	95%
<b>15 文化・歴史の継承と観光振興</b>				
	代表指標	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合	87.4%	90%
1	伝統文化の保存と継承	伝統文化公開事業の延べ参加者数	8,418人(5年度)	12,000人
		江東区には未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思う区民の割合	69.6%	80%

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
<b>15 文化・歴史の継承と観光振興</b>				
2	芸術・文化活動の支援	江東区文化施設における発表活動への延べ参加者数	21,978人(5年度)	24,000人
3	地域資源を活用した観光振興	観光ガイドの案内者数	2,088人(5年度)	3,000人
		区が後援もしくは主催・共催した観光事業の件数	50件(5年度)	50件
		東京都モバイルデータを活用した訪都旅行者動態調査における区への来訪者数(国内旅行者)		30,600,000人
		東京都モバイルデータを活用した訪都旅行者動態調査における区への来訪者数(訪日外国人)		2,110,000人
<b>16 切れ目のない支援による母子保健の充実</b>				
	代表指標	母子保健サービスが充実していると思う保護者の割合	70.7%	75%
1	妊娠・出産・子育て等に関する不安の軽減	新生児・産婦訪問指導実施率	110.2%(5年度)	100%
2	健康診査と相談機会の充実	乳児(4か月児)健康診査受診率	95.7%(5年度)	99%
<b>17 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実</b>				
	代表指標	自分は健康だと思う区民の割合	65.5%	73%
1	健康教育・相談支援体制等の充実	65歳健康寿命	男性82.58歳 女性85.63歳	男性83.22歳 女性86.13歳
		悩みを抱えた時やストレスを感じた時、支援を求めることにためらいを感じる区民の割合	43.5%	36.7%
2	疾病の早期発見・早期治療	この1年間でがん検診を受診した区民の割合	56.0%	60%

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	
<b>17 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実</b>					
3	保健・医療体制の充実と連携の促進	かかりつけ医を持つ区民の割合	区民アンケートで、「かかりつけ医を持っている」と回答した区民の割合	65.4%	72%
		必要な時に、必要とする医療を受けられると思う区民の割合	区民アンケートで、「普段の体調不良時や休日・夜間の急病時などに、身近で必要とする医療を受けられると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	64.0%	78.2%
<b>18 感染症対策と生活衛生の確保</b>					
	代表指標	「手洗い」「咳エチケット」を実施している区民の割合	区民アンケートで、「手洗い」「咳エチケット」を励行していると回答した区民の割合	93.2%	95%
1	感染症対策の充実	結核罹患率(人口10万人当たり)	保健所に新たに報告された結核患者数の、人口10万人に対する人数	10.4人(5年度)	10人
		予防接種接種率(麻しん・風しん1期)	予防接種(麻しん・風しん1期)の対象者数に対する接種者の割合	100%(5年度)	100%
2	生活衛生の確保	食品検査における指導基準等不適率	区内の食品営業施設(飲食店、菓子製造業等)から取去した食品等において、東京都指導基準等に違反する検体数が占める割合	0%(5年度)	1%
<b>19 高齢者支援と活躍の推進</b>					
	代表指標	生きがいや幸せを感じている高齢者の割合	区民アンケートで、「生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した高齢者の割合	64.2%	75%
1	高齢者の活躍の場づくりや地域活動の促進	地域活動や就労をしている高齢者の割合	区民アンケートで、「ボランティアなどの地域活動や就労をしている」と回答した高齢者の割合	30.2%	55%
		地域包括支援センター(長寿サポートセンター)の活動内容を知っている区民の割合	区民アンケートで、「地域包括支援センター(長寿サポートセンター)の活動内容を知っている」と回答した区民の割合	29.1%	35%
2	地域包括ケアシステムの強化	介護予防活動に取り組んでいる区民の割合	区民アンケートで、介護予防活動を3項目以上選択した65歳以上の区民の割合	42.8%	55.1%
		認知症サポーター養成講座受講者数	認知症サポーター養成講座(キャラバン・メイト含む)を受講した人数	23,299人(5年度)	35,000人
3	高齢者の生活の場の安定的確保	特別養護老人ホームの待機者数	特別養護老人ホームへの入所申し込み者のうち、1年以上待機している高齢者の人数	400人(5年度)	200人

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	
<b>20 障害者支援と共生社会の実現</b>					
	代表指標	障害者が社会参加しやすいまちだと思う区民の割合	区民アンケートで、「障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	22.5%	35%
1	障害者の自立・社会参加の促進	まちで障害者が困っているときに声をかけたことのある区民の割合	区民アンケートで、「まちで障害者が困っているときに声をかけたことがある」と回答した区民の割合	47.6%	60%
		区の就労・生活支援センターを通じて一般就労した人数	区の就労・生活支援センター等を通じて一般就労につながった障害者数	956人(5年度)	1,346人
2	障害者施設の整備・充実	障害者グループホームの定員数	江東区内の障害者グループホームの定員数	237人(5年度)	276人
<b>21 地域福祉と生活支援の充実</b>					
	代表指標	身近に生活の相談をすることができる人がいる区民の割合	区民アンケートで、「日々の暮らしの中で、悩みや困り事など、生活の相談をすることができる相手が身近にいますか?」の問いに対し、「いる」と答えた区民の割合	71.0%	85%
1	地域を包括的に支援する体制の充実	民生・児童委員や社会福祉協議会等、困りごとの相談先を知っている区民の割合	区民アンケートで、「民生・児童委員や社会福祉協議会等、地域の中で困りごとの相談できる先を知っている」と回答した区民の割合	22.2%	35%
2	福祉人材・事業者の確保・育成と質の向上	区が確保・育成した福祉人材の人数	介護スタッフ養成研修修了者数、介護事業所等職員向け研修参加者数	353人(5年度)	420人
3	権利擁護の推進	江東区権利擁護センター「あんしん江東」における福祉サービス総合相談の件数	福祉サービスの利用相談、権利擁護相談、成年後見制度等に関する相談の件数	11,369件(5年度)	12,560件
4	健康で文化的な生活の保障	生活保護受給世帯のうち「その他世帯」の就労率	生活保護受給世帯のうち、稼働年齢層が含まれる「その他世帯」の就労率	42.6%(5年度)	55%
<b>22 計画的なまちづくりの推進</b>					
	代表指標	地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う区民の割合	区民アンケートで、「地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	47.1%	55%
1	計画的な土地利用の誘導	地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う区民の割合	区民アンケートで、「地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	47.1%	55%
2	区民とともに進めるまちづくり	まちづくりの活動団体の組織数	地域住民等の発意やまちづくりの機運、開発動向を捉え、「エリアまちづくり方針」を策定するなど、地域主体によるボトムアップ型のまちづくり活動を行う団体の数	10団体(5年度)	22団体

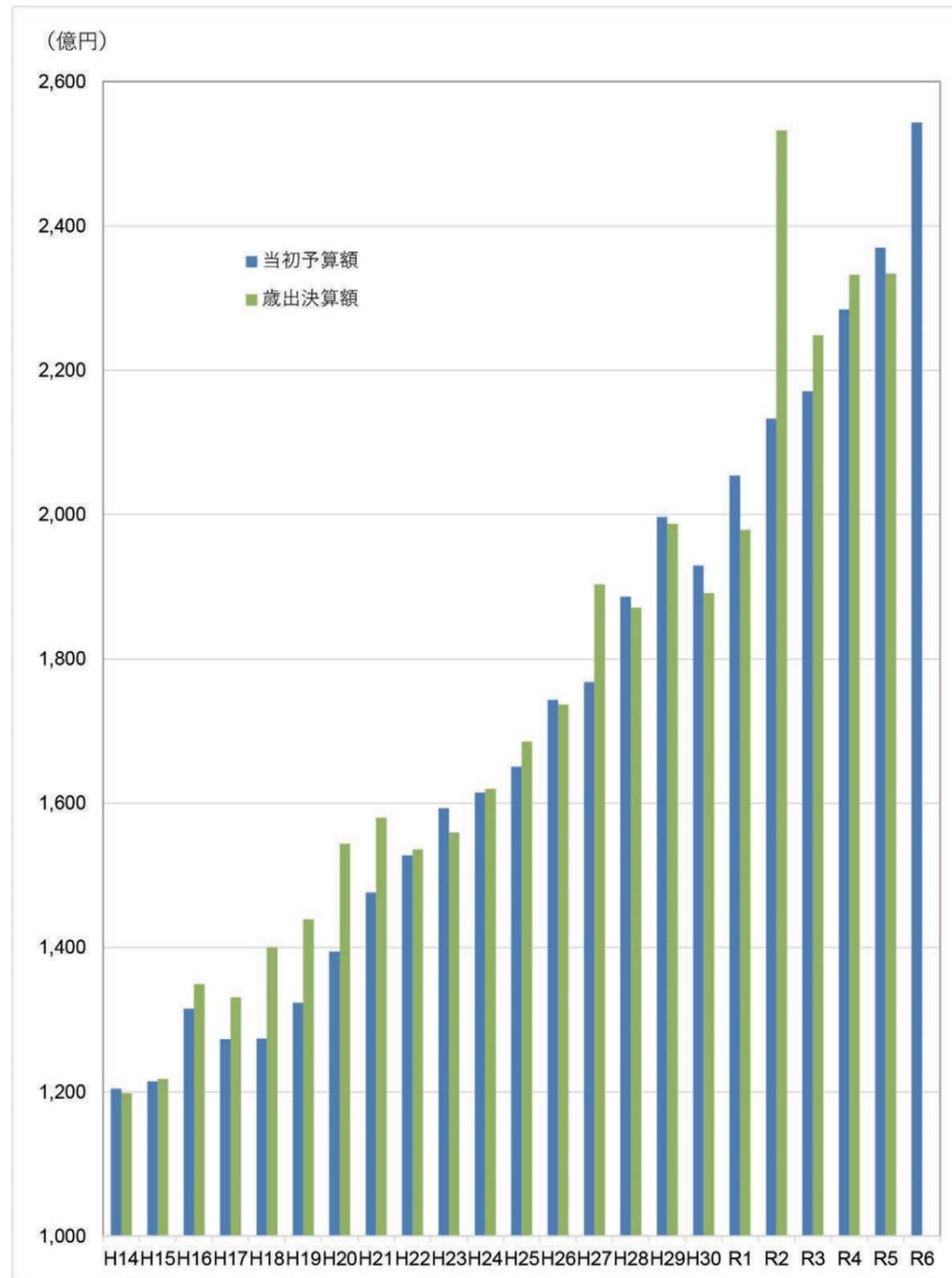
取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	
<b>22 計画的なまちづくりの推進</b>					
3	魅力ある景観形成	江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合	区民アンケートで、「江東区のまち並みが美しいと思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	58.4%	60%
4	ユニバーサルデザインの推進	江東区ではユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思う区民の割合	区民アンケートで、「ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	46.0%	53%
<b>23 良好な住宅の形成と住環境の向上</b>					
代表指標		住環境に満足している区民の割合	区民アンケートで、「居住している住宅の周辺環境について満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した区民の割合	74.8%	80%
1	多様なニーズに応じた住宅確保の支援	お部屋探しサポート事業の成約件数	高齢者、障害者、ひとり親を対象に賃貸物件の空き室情報等を案内しているお部屋探しサポート事業を利用し成約した件数	22件 (5年度)	35件
2	良好な住環境の支援・誘導	歩道状空地の整備(延長)	江東区マンション等の建設に関する条例に基づき整備された歩道状空地の接道延長について、工事完了時点で集計した数値	647.64 m (5年度)	—
		歩道状空地の整備(面積)	江東区マンション等の建設に関する条例に基づき整備された歩道状空地の接道面積について、工事完了時点で集計した数値	1259.46㎡ (5年度)	—
		マンション管理計画の認定件数	一定の基準を満たす管理計画を持つ分譲マンションとして認定した件数	2件 (5年度)	20件
<b>24 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備</b>					
代表指標		区内の移動環境に対する区民の満足度	区民アンケートで、「区内を便利で快適に移動できると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	58.0%	66%
1	安全で快適な道路の整備	無電柱化道路延長(区道)	無電柱化道路(区道)の整備延長	24,023m (5年度)	26,940m
2	安心を実感できる交通環境の整備	区内で発生した交通事故件数(自転車)	区内で発生した自転車の関与する交通事故件数	651件 (5年度)	—
		区内で発生した交通事故件数に占める自転車の関与する割合	区内で発生した交通事故件数に占める自転車の関与する割合	52.9% (5年度)	—
		区内で発生した交通事故件数(高齢者)	区内で発生した高齢者の関与する交通事故件数	394件 (5年度)	—
		区内で発生した交通事故件数に占める高齢者の関与する割合	区内で発生した交通事故件数に占める高齢者の関与する割合	32.0% (5年度)	—
		交通ルールが定着していると思う区民の割合	区民アンケートで、「交通ルールが定着していると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	41.4%	50%

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	
<b>24 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備</b>					
3	公共交通網の充実	区内の移動環境に対する区民の満足度	区民アンケートで、「区内を便利で快適に移動できると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	58.0%	66%
<b>25 災害に強い都市の形成</b>					
代表指標		災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合	区民アンケートで、「災害に強いまちづくりが進んでいると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	31.1%	40%
1	耐震・不燃化の推進	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率	区内の特定緊急輸送道路沿道建築物のうち、耐震性を満たす建築物の割合	88% (5年度)	92%
		北砂三・四・五丁目地区における不燃領域率	市街地の燃えにくさを示す指標であり、70%を超えると市街地の延焼の危険性がほぼなくなるとされている不燃領域率の数値	61% (4年度)	66%
2	水害対策の推進	江東区洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している区民の割合	区民アンケートで、「江東区洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」と回答した区民の割合	65.3%	100%
<b>26 地域防災力の強化</b>					
代表指標		「災害時に必要な備えができている」区民の割合	区民アンケートで、防災対策を5項目以上選択した区民の割合	40.6%	75%
1	防災意識の向上(自助)	1年以内に防災訓練などの防災活動に参加したことがある区民の割合	区民アンケートで、「防災訓練などの防災活動に過去1年以内に参加した」と回答した区民の割合	14.5%	25%
		家具などの転倒防止策を行っている区民の割合	区民アンケートで、家庭内で実施している防災対策のうち、「家具などの転倒防止策を行っている」と回答した区民の割合	44.4%	70%
2	地域の防災活動・救助救援体制の強化(共助)	災害協力隊の数	町会や自治会・マンション管理組合等を母体に結成された自主防災組織(江東区では「災害協力隊」と命名)の数	331隊 (5年度)	337隊
		避難行動要支援者のうち、特に優先度の高い方の個別避難計画作成率	避難行動要支援者のうち、国の指針に基づき区が定めた、特に優先度の高い方の個別避難計画作成割合	—	100%
3	災害対応力の強化(公助)	避難者・帰宅困難者受入れにかかる事業者との協定締結数	災害時に活用が見込まれる、避難者・帰宅困難者受入れに関する、民間事業者・団体等との協定締結件数	68件 (5年度)	73件

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
<b>27 犯罪のないまちづくり</b>				
代表指標	治安が良いと思う区民の割合	区民アンケートで、「江東区の治安が良いと思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	64.7%	70%
1 防犯意識の醸成と地域防犯力の向上	区内刑法犯認知件数	警視庁発表の資料に基づく、区内の刑法犯認知件数	3,254件 (5年度)	—
	日常生活で防犯対策をしている区民の割合	区民アンケートで、日常生活で防犯対策を3項目以上選択した区民の割合	45.9%	75%
2 安全で安心な消費生活の実現	消費者トラブルについて相談できる所を知っている区民の割合	区民アンケートで、「消費者トラブルについて相談できる窓口(機関)を知っている」と回答した区民の割合	45.0%	60%
	消費者相談件数	消費者センターが受け付けた新規の相談件数	3,292件 (5年度)	—
<b>実現1 開かれた区政と区民の参画・協働の実現</b>				
1 開かれた区政運営による透明性の向上	1日当たりの区ホームページアクセス件数	1日当たりの区ホームページアクセス件数	29,972件 (5年度)	
	オープンデータのデータセット数	区が区民、事業者等に広く無償で提供する公共データのカテゴリー数	22 (5年度)	
	区長への手紙取扱件数	区長への手紙(区へのご意見)取扱件数	15,172件 (5年度)	
2 区民参画と協働の推進	公募による区民参画を行っている審議会・協議会の割合	公募による区民参加を行っている審議会・協議会の割合	20.7% (5年度)	
	中間支援組織における地域貢献活動団体の相談件数	地域貢献活動に関する相談、団体の設立・運営に関する相談、専門相談等の件数	914件 (5年度)	
<b>実現2 DXによる区民サービス向上と職員の育成</b>				
1 DXの推進	オンラインで申請できる手続きの割合	オンラインで申請できる手続きの割合(法令等によりオンライン化不可の手続きを除く)	11%	
2 窓口サービスの向上	キャッシュレス手続きの割合	窓口において、現金を取り扱う手続きのうち、キャッシュレス化している手続きの割合	12.2%	
3 職員の育成	職員自己啓発助成件数	「江東区職員自己啓発助成要綱」に基づく、職員の自己啓発のための通信教育講座等受講料の一部助成件数	13件 (5年度)	
	年次有給休暇の年間平均取得日数	年次有給休暇の年間平均取得日数	17.8日 (5年度)	
	男性職員の育児休業取得率	男性職員の育児休業取得率	76.9% (5年度)	
	自主企画調査実施人数	「江東区職員自主企画調査・課題研究活動実施要綱」に基づく、職員の調査・研究活動件数	63人 (5年度)	

取組方針	指標名	指標の説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
<b>実現3 効率的かつ自主・自律的な区政運営の推進</b>				
1 効率的な区政運営の推進	①新規 ②レベルアップ ③見直し ④廃止 事業数	事務事業評価によって改善方向が「新規」「レベルアップ」「見直し」「廃止」となった事業数	①新規 30 ②レベルアップ 120 ③見直し 10 ④廃止 24 (5年度)	
	職員数	4月1日現在の職員数	2,709人 (6年度)	
2 財源の確保と持続可能で安定的な財政運営のための基盤の強化	収納率(現年度分) ①特別区民税 ②国民健康保険料 ③介護保険料 ④後期高齢者医療保険料	収納率	①99.5% ②91.8% ③98.9% ④99.0% (5年度)	
	経常収支比率	人件費や公債費などの経常に支出される経費に対する特別区民税など経常に収入される一般財源の投入割合	73.1% (5年度)	
	公債費負担比率	区債の償還経費である公債費に充当された一般財源の一般財源総額に占める割合	1.3% (5年度)	
	基金残高と起債残高との差し引き額	基金残高と起債残高との差し引き額	161,065 百万円 (5年度)	
3 公有財産の適切な管理と有効活用				
4 地方分権の推進	交流・連携している自治体数	交流・連携している自治体数	48自治体 (5年度)	

### 3. 一般会計の推移



### 4. 主な施設の配置状況

公共施設等の性格によっては、地域バランスを考慮する必要があることから、人口推計を踏まえ、江東区を4つの地域(深川、豊洲・臨海、亀戸・大島、砂町)に区分しています。  
(令和6年4月1日現在)

地域	深川					豊洲・臨海				亀戸・大島			砂町			合計	
	白河	富岡	小松橋	東陽	小計	豊洲	豊洲(6)	豊洲埠頭(有明・青海)	副都心	小計	亀戸	大島	小計	砂町	南砂		小計
防災倉庫	2	2	1	3	8	4	0	1	5	3	5	8	2	2	4	25	
地区集会所	5	5	5	2	17	3	0	0	3	5	3	8	5	3	8	36	
文化センター	1	1	0	1	3	1	0	0	1	1	1	2	1	0	1	7	
体育館	1	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	1	2	0	2	6	
プール	1	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	1	2	0	2	6	
区民館	0	1	1	1	3	1	0	0	1	0	0	0	1	1	2	6	
特別養護老人ホーム	民間	0	2	1	1	4	4	0	0	4	1	2	3	3	1	4	15
高齢者在宅サービスセンター	区立	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
	民間	1	2	1	2	6	2	0	0	2	1	2	3	3	2	5	16
福祉会館等	2	1	1	1	5	2	0	0	2	2	1	3	1	1	2	12	
保健所・相談所	1	0	0	1	2	1	0	0	1	0	1	1	0	1	1	5	
保育所	区立	3	2	3	1	9	8	0	0	8	4	6	10	8	9	17	44
	私立	19	12	13	14	58	31	1	9	41	17	13	30	12	14	26	155
	認証	0	2	1	2	5	5	0	0	5	5	2	7	0	2	2	19
子ども家庭支援センター	1	0	1	1	3	1	0	1	2	1	1	2	0	1	1	8	
公園	区立	10	14	17	10	51	26	3	0	29	32	14	46	25	21	46	172
	都立	1	0	1	1	3	1	0	0	1	1	1	2	0	1	1	7
	海上	0	0	0	0	0	3	0	12	15	0	0	0	0	4	4	19
児童遊園	14	8	9	16	47	11	0	1	12	7	8	15	22	3	25	99	
幼稚園	区立	1	0	1	2	4	4	0	0	4	2	2	4	2	2	4	16
	私立	3	1	3	0	7	1	1	1	3	2	1	3	2	0	2	15
児童館	2	1	1	1	5	4	0	0	4	2	2	4	2	2	4	17	
江東きッズクラブ(学校外)	1	0	1	1	3	8	0	0	8	3	2	5	1	2	3	19	
図書館	1	1	1	1	4	2	0	1	3	1	2	3	1	1	2	12	

## 5. 江東区基本構想(平成21年3月策定)

### 1. 新たな基本構想策定の背景

- 江戸初期以降、江東地区の埋め立てが始まり、その後、明治・大正・昭和・平成と、新たな「まち」が形成されてきました。その間、江東区は地盤が低く脆弱なことから幾度も水害に見舞われたり、昭和20年の東京大空襲、ごみ問題など多くの困難もありました。しかし、区民はそれらの困難を全力で克服してきました。
- そうした中、区は平成11年3月策定の基本構想において、目指すべき将来像を「伝統と未来が息づく水彩都市・江東」と定め、今日までこれを区政の基本的指針としてきました。
- しかし、時代は大きく変わっています。世界的課題である地球温暖化対策には、国や東京都もそれぞれ取り組んでいます。基礎自治体である区の役割も極めて重要となっています。
- 江東区にはその他にも現在の日本社会、東京が抱える問題が顕在化しています。マンション建設に伴う人口急増、南部地域の新たなまちづくりなども、東京一極集中の側面と言えます。もちろん、高齢社会の一層の進展や、逼迫性が指摘される首都直下地震への対応、さらに子どもをめぐる教育、福祉の課題など、江東区を取り巻く課題は山積しています。
- 私たちは、こうした過去経験したことのない課題解決への取り組みを、新たな長期的視点に立った江東区をつくっていくための好機として、前向きにとらえる必要があります。このため、概ね今後20年を展望した新たな基本構想を策定し、江東区の更なる発展に向け歩んでいくこととしました。

### 2. 基本理念

基本構想は区民、民間団体、都、国など、江東区にかかわるすべての人たちが協力してその実現に努めるべきまちづくりの目標であり、江東区において活動する際に尊重すべき指針としての役割を持っています。

この基本構想全体を貫く考え方として、次の3つの基本理念を掲げます。

- 次の世代が誇れる江東区をつくります  
先人たちが築き上げた、江東区の良き伝統を継承・発展させ、次の世代が誇ることのできる江東区をつくります。
- 区民と区がともに責任を持って江東区をつくります  
区民はまちづくりの主役であり、区民と区はともに責任を持って江東区をつくります。
- 区民が生き生きと暮らせる江東区をつくります  
区民がお互いの人権を尊重し、区民一人一人が生き生きと暮らせる江東区をつくります。

#### 【区民とは】

この基本構想における区民とは、江東区に居住する人だけでなく、区内で働き(事業者)、学ぶ(学生)など、区内で活動するすべての人を言います。

### 3. 将来への展望

#### (1) 江東区の将来像

概ね今後20年を展望した江東区の姿を「みんなで作る伝統、未来 水彩都市・江東」とし、江東区の将来像とします。

#### 江東区の将来像

みんなで作る伝統、未来 水彩都市・江東

#### (2) 目指すべき江東区の姿

江東区の将来像をそれぞれの分野ごとに具体化した、目指すべき江東区の姿を定めます。

#### 1. 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

- 身近に豊かな水辺と緑に親しむことができる空間が整備され、都心にいながらうるおいあふれる美しいまちを実感できます
- 誰もが地球環境保全の取り組みを行い、環境負荷の少ないまちづくりを実現しています

#### 2. 未来を担う子どもを育むまち

- 子どもを育てることに、喜びと生きがいを持てる社会になっています
- 子どもたちが毎日楽しく学び、遊ぶ中で、こどもらしくのびのびと育ち、責任感を培うとともに、未来を担う力を養っています
- 地域社会が一体となり、こどもの未来を育んでいます

#### 3. 区民の力で築く元気に輝くまち

- 区内の商工業が発展し、地域経済が活性化しています
- 誰もが持てる能力を発揮しながら、コミュニティ・生涯学習・スポーツ活動に参加できる豊かな地域社会が形成されています
- 誰もが地域の歴史と文化に対する理解と誇りを持つとともに、多くの人が江東区を訪れています

#### 4. ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち

- 誰もがライフステージやライフスタイルに応じた健康づくりに取り組んでいます
- 高齢者、障害者をはじめ誰もが地域で支えあいながら、生きがいを持って社会に参加しています

#### 5. 住みよさを実感できる世界に誇れるまち

- 南北交通をはじめとする公共交通網の充実や都市基盤の整備により、誰もが快適に暮らせるまちが実現しています
- 災害に強く、犯罪や交通事故のない地域社会の実現により、誰もが安全で安心して住み続けることができます

## 4. 施策の大綱

目指すべき江東区の姿に向かって、区は以下の施策を行っていきます。

### (1) 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

江東区では、江戸時代から現在に至るまで、ごみ問題、水害、公害等のさまざまな環境問題への取り組みを行うとともに、水辺を活かしたまちづくりを進めてきました。

うるおいあふれるまちを実現するため、まちの中の緑を増やししながら、豊かな水辺と緑を守り、育み、活用した、魅力あるまちを形成していきます。

さらに、資源循環型の地域社会づくりを進めていくとともに、近年の地球規模の温暖化への対策など、次の世代の人々のためにも環境負荷の少ない地域づくりに取り組んでいきます。

#### ① 水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成

- 水辺に親しむ空間の整備・活用や、水辺と緑の連続性を考慮したまちづくりを進め、江東区の特徴である豊かな水辺を活かした、緑豊かなまちなみの形成を図ります。
- 公園、緑地の整備はもちろん、建築物の敷地内の緑化などの取り組みを進め、まちの中に身近な緑を増やしていきます。

#### ② 環境負荷の少ない地域づくり

- 持続可能な地球環境の保全のため、温室効果ガスの削減など、地域からの取り組みを推進します。
- 廃棄物の発生抑制、再使用、リサイクルの推進など、資源循環型の地域社会を実現します。
- 低炭素型社会への転換のため、区民・事業者・行政など、さまざまな主体による連携・協働の取り組みを進めます。

### (2) 未来を担うこどもを育むまち

江東区のこどもが、江東区を愛し、世界を舞台に生き生きと羽ばたいていける環境を創造していくことが求められています。

そのため、こどもをめぐる状況の変化、子育て家庭のニーズを的確にとらえ、安心してこどもを産み、育てられる環境の充実に努めます。

また、学習環境の整備や地域等との連携をより一層推進し、一人一人が大切にされ、楽しく学び、責任感を培うことができる学校をつくとともに、知・徳・体を育む教育を実現していきます。

さらに、家庭・学校・地域が一体となり、健やかなこどもの未来を育む地域社会づくりを進めます。

#### ① 安心してこどもを産み、育てられる環境の充実

- 安心してこどもを産み、育てられるよう、子育てを支援する施設やサービスを質、量ともに充実していきます。
- 子育ての不安と悩みを解消し、楽しく子育てができるよう、子育て家庭の学びと交流の支援や機会の拡充に努めます。

#### ② 知・徳・体を育む魅力ある学び舎づくり

- こどもの持つ可能性が発揮できる学習環境の整備を進め、幼児・児童・生徒の確かな学力・豊かな人間性・健やかな体を育成していきます。
- 一人一人の個性が尊重され、こどもたちが安心して通える学校をつくります。
- 地域や大学等さまざまな機関と積極的に連携を図り、教育力の向上に努めます。

#### ③ こどもの未来を育む地域社会づくり

- 地域住民による子育て家庭への支援などを通じて、不安や悩みのない子育て環境の実現を図ります。
- こどもが安心して暮らし、学ぶことができるよう、家庭・学校・地域が一体となってこどもたちを見守り、その成長を後押ししていく地域社会づくりを進めます。
- 地域の人材や団体と協力して、家庭・学校等を支援し、こどもの健全育成を図ります。

### (3) 区民の力で築く元気に輝くまち

江東区では、高齢化・国際化の進展や集合住宅の増加など、急激な人口構造の変化の中、良好な地域社会を形成していくことが求められています。

そのため、中小企業の育成や商店街の活性化を図るとともに、消費者の権利保護に努めながら、健全で活力ある地域産業を育成します。

また、コミュニティの活性化と、生涯学習の機会提供及び生涯スポーツの推進、男女共同参画社会の実現に努め、個性を尊重し、活かしあう地域社会づくりを進めます。

さらに、新旧の文化に触れ、親しむ機会の提供を行うなど、地域文化の活用を図るとともに、地域資源を活かした観光振興を推進します。

#### ① 健全で活力ある地域産業の育成

- 中小企業が今後とも地域産業として成長するために、産学公連携、新製品開発、技術力向上、経営力改善、企業間ネットワークの強化に向けた支援などを通じて、区内中小企業を育成していきます。
- 大規模小売店舗の進出、消費行動の多様化、高齢者の増加など、区内商店街を取り巻く環境変化を飛躍する機会ととらえ、消費者ニーズを反映した商店街振興を進めていきます。
- 消費者としての区民の権利を保護するとともに、適切な情報提供等を通じて、誰もが安心できる消費生活の実現を図ります。

#### ② 個性を尊重し、活かしあう地域社会づくり

- 町会・自治会、NPOなどのさまざまな活動を通じて、地域の発展や課題解決に主体的に取り組み、年齢や国籍等に関係なく誰もが個性を発揮できるコミュニティの活性化を推進します。
- 誰もが参加しやすい生涯学習の機会を提供し、生涯スポーツ社会づくりへの取り組みを通じて、区民が持っている能力や個性を発揮し、地域に還元できる仕組みづくりを進めます。
- 性別による男女の固定的な役割分担意識の解消と、男女が社会のあらゆる分野においてともに活動に参画できる機会の確保に努め、男女共同参画社会の実現を目指します。

#### ③ 地域文化の活用と観光振興

- 名所旧跡・文化財などの豊かな伝統や、さまざまな有形無形の芸術文化を知り、親しむ機会を幅広く提供し、新たな地域文化を育む環境づくりを進めます。
- 豊富な地域資源を活用した観光振興に取り組み、多くの人に訪れてもらえるよう、区の魅力を区の内外に発信します。

### (4) ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち

全国的な少子高齢化の中、江東区においても高齢化率の上昇、単身高齢者、高齢者夫婦のみの世帯の増加などにより、誰もが安心して生きがいを持って暮らせる保健・医療・福祉施策の充実が求められています。

区民が、ライフステージやライフスタイルに応じて適切な医療を受けることができ、健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実を図ります。

また、保健・医療・福祉のネットワークのもとで、地域で支え助け合う心を育み、地域参加のしくみを充実することにより、誰もが自立できる環境を整え、安心して暮らせる福祉施策を推進します。

#### ① 健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実

- 高齢社会の進展に伴って、長年にわたる生活習慣を起因とする生活習慣病が増加していることから、保健・医療施策の拡充を図ります。
- 生活環境、衛生管理の充実を図るとともに、感染症対策並びに食の安全を確保し、快適で安全・安心な暮らしを支えます。
- 誰もが安心して医療が受けられるよう医療体制の整備を図るとともに、地域における円滑な連携体制を推進し、区民のライフステージやライフスタイルに応じた保健・医療の充実を図ります。

#### ② 誰もが自立し、安心して暮らせる福祉施策の推進

- 誰もが住み慣れた地域で、安心で充実した生活が送れるよう、保健・医療・福祉のネットワーク化を進め、総合的な福祉の推進を図ります。
- 元気な高齢者をはじめ区民誰もが地域における福祉・保健の推進役として、活躍できるよう支援するとともに、地域福祉の充実を図ります。
- 高齢者、障害者をはじめ誰もが自立することを目指し、安心して暮らすことができる環境を整えていきます。

## (5) 住みよさを実感できる世界に誇れるまち

江東区は、伝統が息づく既成市街地(下町)と、臨海部など躍動感のある新しい市街地の両面を併せ持っています。また、集合住宅建設による人口の増加、東京湾での埋め立てにより引き続き新たなまちができるなど、今後も大きな可能性を秘めています。こうした特性を活かしながら、居住年数や地域等に関係なく区民がともに生活し心が通じ合う、快適な暮らしを支えるまちづくりを進めます。

また、建築物の耐震化促進をはじめとする防災対策や防犯対策を促進し、災害や犯罪などの不安をなくすとともに、事故やけがを予防するため区民や行政等が協働してまちづくりを行うセーフコミュニティの取り組みを推進し、安全で安心なまちを実現します。

### ① 快適な暮らしを支えるまちづくり

- 大規模開発や、再開発等の市街地整備などによる変化に対応するとともに、地域間のバランスにも配慮しながら、公共施設の適正配置、都市基盤の適切な整備、良好な景観形成を進めます。
- 社会経済、都市構造の変化を的確、柔軟に受け止めて、良好な住宅・住環境を確保し、改善していくため、地域・住民主体の取り組みを促進、支援します。
- 年齢や国籍、障害の有無に関係なく、また、はじめて江東区を訪れた人など、すべての人が生活、活動しやすいユニバーサルデザインのまちづくりを進めます。
- 区民の生活利便性や産業活動を支える道路網を整備、充実するとともに、南北軸の強化など区内の公共交通網の充実を図ります。

### ② 安全で安心なまちの実現

- 公共施設や区内建築物の地震対策や高潮対策・都市型水害対策を推進し、災害に強いまちをつくれます。
- 防災意識の向上と地域防災活動の活性化を図るとともに、災害時の情報提供や避難所の確保、救助物資の拡充など大規模災害に備えた防災対策を推進します。
- 区民の防犯意識を向上させるとともに、地域の自主的な防犯活動を支援し、安全で安心して暮らせるまちを実現します。

## 5. 基本構想の実現のために

新たな基本構想策定にあたり、これからの江東区が目指すべき将来像やその実現に向け、区民の視点から意見を出し合い、検討する場として江東未来会議が設置されました。

公募による150人の区民が5か月にわたり熱い議論を交わし、区民の声が詰まった提言書を取りまとめました。この提言書を貫く考え方は、新しい江東区は「区民が主体となってつくる」ということです。

区民はまちづくりの主役であることを自覚し、地域の課題解決に向けて自ら行動し、主体的にまちづくりを行っていきます。そのために、区民は自らの発言及び行動に責任を持つとともに、互いの意見及び行動を尊重します。

区は、区民が主体的にまちづくりにかかわることができる環境整備や区民が力を発揮できる体制づくりを行うとともに、積極的に情報を提供し、区民の参画・協働と開かれた区政を実現します。

また、本区は今後も人口増加等によりまちの姿を一変させていくことが見込まれ、一層効率的・効果的な行財政運営が求められます。こうした変化に柔軟な対応ができる人材育成や組織体制づくりを進めることにより、スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営を実現します。

さらに、地方分権や都区制度改革の進展に伴い、区は今後も責任を持って安定的な行政サービスを提供していくため、自律的な区政基盤を確立します。

### ① 区民の参画・協働と開かれた区政の実現

- 区民や団体、事業者が主体的にまちづくりに参画し、協働できる環境を整備するため、区政への参画機会の提供、参画促進に向けた意識の高揚や知識・ノウハウ習得への支援を行います。
- 開かれた区政の実現に向け、高い透明性と公正さを兼ね備えた行財政運営を行なうとともに、積極的に情報提供を行っていきます。

### ② スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

- 基本構想の将来像の実現に向け意欲的に取り組み、新たな行政課題を解決していくことのできる職員を育成していきます。
- 区を取り巻く状況変化に、柔軟かつ迅速に対応する組織体制を確立します。
- さまざまな経営管理手法を積極的に検討・活用し、施策・事業の効率性向上、人材や区有財産等の行政資源の有効活用を図ります。

### ③ 自律的な区政基盤の確立

- 責任ある行政としての役割を果たすため、将来にわたって安定的な区政運営が可能な財政基盤を確立します。
- 地方分権の更なる進展や区政を取り巻く状況の変化に的確に対応するため、自律的な区政基盤の強化を図ります。

## 6.用語解説

用語	説明
アウトリーチ型支援	積極的に対象者の居る場所に向いて支援や働きかけを行うこと。
アダプトプログラム	アダプトとは「養子縁組をする」という意味。区民等で組織された団体が、区道、区立公園等の一定の区域を養子に見立て、我が子を想うような愛情を持って定期的に清掃する、ボランティア活動のこと。
医療的ケア児	日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童のこと。
インクルーシブ教育	人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的のもと、障害のある者と障害のない者がともに学ぶ教育のこと。
エコロジカルネットワーク	生き物が息息・生育するさまざまな空間(緑地・水辺等)がつながる生態系ネットワークのこと。
オープンデータ	誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工・編集・再配布等)できるよう公開されたデータのこと。営利・非営利を問わず二次利用が可能で、機械判読に適し、無償で利用できる。
海拔ゼロメートル地帯	満潮時の海水面より土地が低い地帯のこと。
基幹相談支援センター	障害福祉分野において地域の相談支援の中核的な役割を担う相談機関のこと。
キャッシュレス決済	クレジットカード、デビットカード、電子マネーその他の現金以外の方法による支払手段のこと。
行政評価システム	長期計画の施策実現に関する指標の推移により進捗状況、課題、取り組みの方向性等を評価する施策評価と施策実現のための有効性・効率性等の観点から事業の見直しを行う事務事業評価の2つからなる評価手法のこと。
経常収支比率	自治体の財政構造の弾力性を判断するための代表的な指標であり、人件費や公債費などの経常的に支出される経費に対して、特別区税をはじめとする経常的に収入される一般財源をどの程度充当しているかを示す割合のこと。
公債費負担比率	地方債の元利償還金等の公債費に充当された一般財源が一般財源総額に対し、どの程度の割合になっているかを示す指標のことであり、財政構造の弾力性を判断するもの。
江東きっずクラブ	区内に在住・在学している小学生に対して、放課後や夏休みなどに、こどもたちが安心して過ごすことのできる居場所を提供する事業のこと。全児童向けで自主的な学びの場・遊びの場を提供する「A登録」と、保護者が就労等により日中家庭にいない世帯の児童を対象に生活の場を提供する「B登録」「土曜江東きっずクラブ」がある。
こうとう学びスタンダード	こどもたち一人一人の確かな学びや育ちを支えるものとして、江東区のすべてのこどもたちに確実に身に付けさせたい内容を明らかにし、その定着を目指す全校園での取り組み。
コーホート要因法	将来人口の推計をする際の手法。コーホートは同じ年(又は同じ期間)に生まれた人々の集団(人々の数)のこと。各コーホートについて、「自然増減数」及び「純移動数」という二つの数値の将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する。
子ども家庭支援センター	保護者同士の交流や乳幼児がのびのびと遊ぶことを目的とした子育てひろば、子育て相談、育児に関する情報や学習機会の提供、一時保育サービスの提供等により、孤立した子育ての解消・虐待の未然防止に取り組む地域における子育ての見守り支援拠点施設のこと。
こどもまんなか社会	常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取り組み・政策を我が国社会の真ん中に据える社会のこと。
こども110番の家事業	こどもたちが身の危険を感じた時に緊急に逃げ込める場所(住居、商店、事業所等)を確保する事業のこと。

用語	説明
個別避難計画	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害のある方などの避難行動要支援者名簿への登録届け出に基づき作成する一人ひとりに対する避難支援のための個別計画のこと。
コミュニティサイト	共通の趣味・話題・関心事・目的などを持つ人が参加し、情報を交換したり交流を深めたりするインターネット上のサイトのこと。
コミュニティサイクルポート	コミュニティサイクルは、一定の地域内に複数配置されたサイクルポートで自由に貸出・返却をすることができる自転車シェアリングシステムのことであり、サイクルポートは、歩道上等に設置された、自転車の貸出・返却を行う無人の駐輪施設のこと。
コミュニティスクール	学校と地域住民や保護者等が、学校運営の基本方針やさまざまな課題を共有するとともに、学校への必要な支援等について協議する仕組みのこと。
コミュニティバス	交通空白地域・不便地域の解消等を図るため、市町村等が主体的に計画し、運行するバスのこと。
災害協力隊	地域住民が力を合わせ、区、消防等の関係機関と協力しながら地域の安全を図ることを目的とした、自主防災組織のこと。
再生可能エネルギー	太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった、温室効果ガスを排出せず生産できるエネルギーのことであり、枯渇せずに繰り返して永続的に利用できるという特徴がある。
サステナブル・リカバリー	明るい未来を切り拓き、豊かな地球を次代へ引き継ぐべく、環境、経済、文化、スポーツ、人権、人々や企業の意識・行動様式など、社会全体に係るさまざまな側面で人々の持続可能な生活の実現を目指す取り組みのこと。
自助・共助・公助	主に災害対策の考え方で、自助・共助・公助が互いに連携して取り組むことで、災害被害を軽減することができる。 自助:自分の身は自分で守ること 共助:住民同士が協力し合うこと 公助:公的機関による救助・支援のこと
指定管理者制度	「公の施設」の管理に民間事業者等の有するノウハウを活用することにより、多様化する区民ニーズに効果的・効率的に対応していくことを目的とした制度のこと。
シティプロモーション	まちのブランディングによるイメージや認知度の向上と区民の愛着や誇りの醸成に取り組んだり、まちの魅力を地域の内外に効果的に発信することで交流人口や関係人口の拡大をねらう、地方自治体の宣伝・広報・営業活動のこと。
人工知能(AI)	人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム全般のこと、あるいは人間が知的と感じる情報処理・技術全般のこと。
人生100年時代	健康寿命の延伸によって将来発生が予測されている更なる長寿社会のこと。特に、寿命が100年を超える人が従来より増加することが予測されており、人生100年時代と名付けられている。この予測を受け、近年では全ての年代の人が活躍し続けられる社会の仕組みづくりに注目が集まっている。
スクールソーシャルワーカー	不登校やヤングケアラー等、子供が抱えるさまざまな課題を解決に導くため、教育と福祉を繋いで援助する職員のこと。
スクールロイヤー	児童生徒を取り巻く問題に関して、法的側面から学校に助言を行う弁護士のこと。
スタートアップ	新しいビジネスモデルをもとに、短期間で急成長をすることを目標とした企業や団体のこと。
青少年指導者	「ジュニアリーダー」のこと。子ども会などの活動や遊びのリーダーとなるお兄さん・お姉さんのことで、こどもまつりや地域行事、少年キャンプなどで活躍している。
成年後見制度	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が十分でない方の判断能力を補い、自己の意思決定を尊重しつつその権利を保護する制度のこと。家庭裁判所が事情を考慮した上で後見人等を選任する。

用語	説明
生物多様性	様々な生態系が存在すること並びに生物の種間及び種内に様々な差異が存在すること。
ゼロカーボン	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、温室効果ガスの排出量が全体として実質的にゼロになっている状態のこと。
脱炭素社会	地球温暖化の主な原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする社会のこと。
地域学校協働本部	従来の地域と学校の連携体制を基盤として、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制のことであり、学校を核とした地域づくりを目指している。
地域共生社会	福祉の担い手と受け手という固定的な関係ではなく、住民誰もが相互に支えあい、また、高齢者、障害者、子ども、生活困窮者といった対象者ごとの「縦割り」を解消して、必要な方が一体的に支援を受けられる社会のこと。
地域包括ケアシステム	高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために、「医療」、「介護サービス」、「介護予防」、「住まい」、日常の困り事を解決するための「生活支援」といった必要な支援を適切に受けられる体制のこと。
地下鉄8号線延伸	地下鉄8号線とは東京メトロ有楽町線のことであり、地下鉄8号線の延伸は、東京メトロ有楽町線豊洲駅から東陽町駅を経由し、住吉駅に至る区間を整備し、2つの中間新駅を設置する計画のこと。
中間支援組織	行政と地域の間にとって、社会の変化やニーズを把握し、地域におけるさまざまな団体の活動や団体間の連携を支援する組織のこと。
長寿サポートセンター（地域包括支援センター）	介護保険法に基づく「地域包括支援センター」であり、高齢者の総合的な相談機関のこと。保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が、互いに連携しながら支援を行う。
デジタルリテラシー	活用されているデジタル技術に関する知識があること、デジタル技術を活用する方法を知っていること。
豊洲 千客万来	豊洲市場の本体施設と連携し、豊洲ならではの活気やにぎわいを生み出すことを目的とした複合商業施設のこと。
ネットリテラシー	インターネット・リテラシーを短縮した言葉で、インターネットの情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断、運用できる能力のこと。
パブリックコメント	行政機関が実施しようとする計画・取り組みについて、あらかじめ案を公表し、住民に意見を求め、それを考慮して決定する制度のこと。
ピクトグラム	抽象化、単純化された絵文字等で表現された視覚記号の一つであり、国際的に通用する情報伝達手段のこと。
ビッグデータ	ネット上のテキストデータ、GPSの位置・移動情報、センサーの計測データなど、ボリュームがぼう大で、構造が複雑なために、これまでの技術では管理や処理が困難なデータの集合のこと。
ファミリーサポート事業	区内で育児の手助けができる方（協力会員）と育児の手助けを必要とする方（利用会員）を結び、会員同士による援助活動を行う事業のこと。
部活動指導員	校長の監督のもと部活動の顧問として技術的な指導を行うだけでなく、大会への引率等も行うことが可能な学校職員のこと。
ブリッジスクール	江東区における不登校支援制度の一環として、不登校児童・生徒に対する個別の学習指導、体験活動、相談活動による指導などの支援や、保護者への相談対応や支援を行っている事業のこと。
ふるさと納税	自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、一定の上限まで、原則として所得税と住民税から全額が控除される制度のこと。
ヤングケアラー	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者のこと。

用語	説明
リカレント教育	仕事で求められる知識やスキルを、時代の変化にあわせて継続的にアップデートするための社会人の学び直しのこと。
リスキリング	職業で必要とされるスキルの変化に適応するために、必要なスキルを得ること。
レガシー	本来は、過去に築かれた、精神的・物理的遺産の意味。近年では、特に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴って使われるようになり、特定の取り組みが後世に残す成果の意味で使われる。
レファレンス機能	図書館の資料を使って、調べものや情報探しをお手伝いするサービスのこと。
ワーク・ライフ・バランス	「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。
5R	リフューズ（断る・ごみになるものを断る）、リデュース（発生抑制・ごみを発生させない）、リユース（再使用・ものを繰り返し使う）、リペア（修理・ものを修理して使う）、リサイクル（資源として再生利用する）の5つの行動のこと。
65歳健康寿命	65歳の人何らかの障害のために日常生活動作が制限されるまでの年齢を平均的に表したもののこと。
DX	Digital Transformationの略。デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること。
GIGAスクール構想	GIGAは、Global and Innovation Gateway for ALLの略。1人1台端末、及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させること。
HACCP	Hazard Analysis and Critical Control Pointの略。原材料の入荷から製品の出荷までの全工程の中で、食中毒菌汚染や異物混入等の危害を低減等させるために工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法のこと。
IoT	Internet of Thingsの略。「モノのインターネット」と呼ばれ、自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、新たな付加価値を生み出すこと。
LGBT	レズビアン（Lesbian: 女性同性愛者）、ゲイ（Gay: 男性同性愛者）、バイセクシャル（Bisexual: 両性愛者）、トランスジェンダー（Transgender: 身体の性別と本人が思う性別が一致しない人、または、違和を感じている人）の頭文字を並べた略称。
MICE施設	MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
PDCAサイクル	Plan-Do-Check-Actionの頭文字をとっている。Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。
PFI	Private Finance Initiativeの略。PPPの一つで、公共施設等の設計・建設、維持管理、運営を、民間の資金とノウハウを活かして行う、公共事業の手法。
PPP	Public Private Partnershipの略。官民が連携し、行政サービスを提供する手法を幅広く捉えた概念のこと。
SDGs	Sustainable Development Goalsの略。2015年に国連で採択された2030年までの達成を目指す17の目標と169のターゲットで構成される。「誰ひとり取り残さない」をキーワードに全ての人がそれぞれの立場から目標達成のために行動することが求められている。気候変動や経済的不平等、平和と正義などを優先課題に、包括的かつ普遍的な行動を呼びかけている。目標は相互に結び付いている。
SNS	Social Network Serviceの略。登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。
Society5.0	サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会で、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会を指す。

## 江東区平和都市宣言

真の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、現実を見ると、世界の核軍拡競争は激化の一途をたどり、世界の平和と人類の生存は、深刻な脅威にさらされている。

われわれは、世界で唯一の核被爆国の国民として、核兵器をなくし世界平和実現のためへの努力を続けなければならない。

加えて、江東区は、昭和20年3月9日夜半から10日にかけて町全域が焼失し、多くの尊い人命と財産を失った戦争体験をもっており、平和を希求する江東区民の願いには一段と強いものがある。

よって、われわれは、我が国が日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念と、「非核三原則」を堅持していくことを強く求めるものである。

江東区は、平和を愛する区民の願いにこたえ、再び戦争の惨禍を繰り返してはならないことを強く世界の人々に訴えるとともに、「平和都市」であることを宣言する。

昭和61年12月13日 江東区

## 区民のちかい－江東区民憲章－

江東区は隅田川と荒川に囲まれ、東京湾に向かって発展してきたまちです。

わたくしたちは先人の築いた伝統と文化を引きつぎ、震災や戦災などの教訓を生かして、新しいまちづくりをしています。

だれもが住みよい明るいまちを築くため、ここに区民のちかいを定めます。

1. 緑と水に恵まれて ゆたかな心を育てます
1. 世代を越えて支えあい 心のふれあい強めます
1. とともに考え学びあい 未来の文化をつくります
1. 働く誇りと喜びで 活気と笑顔をわかせます
1. 同じ地球に住む仲間 世界の人と話します

平成13年3月22日 江東区